

栃木県・塩原温泉郷・新湯（あらゆ）温泉

奥塩原高原ホテル

Okushiobara kogen Hotel

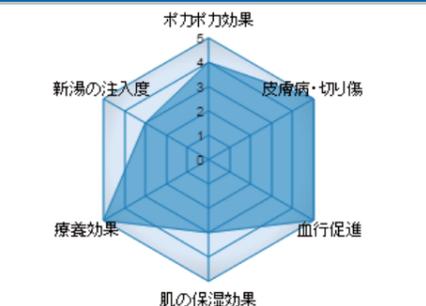
〒329-2922 栃木県那須塩原市湯本塩原113-4  
TEL：0287-32-2464



■ 宿データ (※料金は税別)	
1泊2食料金	¥11,000～
1泊朝食料金	設定なし 素泊り -
一人泊	-
宿泊時の貸切風呂料金	有料 (¥3,000 / 50分)
日帰り	¥800
日帰り(個室休憩+昼食)	設定なし



■ 温泉力 チャート (5段階評価)



◆美肌の湯度数 ※最高は4つ星  
★☆☆☆  
★顔のシミが気になる方  
慢性皮膚病にお悩みの方

◆こんな人に最適  
アトピー性皮膚炎、湿疹など肌トラブルが気になる方、生活習慣病が気になる方

■ 温泉成分表

湯の色 白色 におい 硫黄臭 味 酸味・苦味  
溶存物質 (ガス性ものを除く成分①+②+③の合計) 271mg  
泉温 68.0℃ pH値 2.6 (酸性)  
湧出量 約 120.6 リットル/分  
一人あたりの温泉利用量 (湧出量/収容人数) 約 1.09 リットル/人 ※収容人数 110人  
温泉の成分 (源泉 1kg 中に含有する分量) : 源泉名 : 共同噴気泉 (なかの湯)

陽イオン	ミクロム	ミリモル	陰イオン	ミクロム	ミリモル
水素イオン(H <sup>+</sup> )	2.5	61.74	塩素イオン(Cl <sup>-</sup> )	2	1.54
ナトリウムイオン(Na <sup>+</sup> )	3.9	4.17	硫化水素イオン(HS <sup>-</sup> )	0	0
カリウムイオン(K <sup>+</sup> )	1.6	1.01	硫化物イオン(S <sup>2-</sup> )	0	0
カルシウムイオン(Ca <sup>2+</sup> )	8.9	10.92	チオ硫酸イオン(S <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	-	-
マグネシウムイオン(Mg <sup>2+</sup> )	2.1	4.25	硫酸水素イオン(HSO <sub>4</sub> <sup>-</sup> )	14.1	3.96
アルミニウムイオン(Al <sup>3+</sup> )	6.2	16.94	硫酸イオン(SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	166.2	94.5
第一鉄イオン(Fe <sup>2+</sup> )	1.1	0.97	炭酸水素イオン(HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	0	0
計①	26.4	99.99	計②	182.2	100.00
非溶解成分	ミクロム	ミリモル	溶存ガス成分	ミクロム	ミリモル
メタケイ酸(H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> )	61.2	0.78	遊離二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	0	0
メタホウ酸(HBO <sub>2</sub> )	0.7	0.02	遊離硫化水素(H <sub>2</sub> S)	78.4	2.15
計③	61.9	0.80	計	78.4	2.15
成分総計 271mg/kg 344mg/kg					

その他微量成分	
総ひ素	0.01mg/リットル
総水銀・銅イオン・鉛イオン・カドミウムイオン・クロムイオン等	0.00mg未満

※適応症 禁忌症に関して、平成26年7月改正の「鉱泉分析法指針」に準拠しています。 宿よりデータを提供して頂きました。

この泉質ならではの浴用の適応症

アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性湿疹、表皮化膿症、末梢循環障害、耐糖能異常(糖尿病)、自律神経不安定症、不眠症、うつ状態

浴用の一般的適応症

筋肉又は関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、病後回復期、疲労回復、健康増進など

浴用の禁忌症

皮膚又は粘膜の過敏な人、高齢者の皮膚乾燥症  
※一般的禁忌症・・・病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期

飲用の適応症

耐糖能異常(糖尿病)、高コレステロール血症 ※奥塩原高原ホテルでは飲用不可

分析日

平成17年6月2日

データ製作  
温泉コム株式会社  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-6-2 第2本ビル6F  
TEL 03-5485-1311 FAX 03-5485-3500  
E-MAIL info@onsencom.jp

**貸切温泉** 貸切温泉どっとこむ  
http://www.kashikiri-onsen.com/

温泉解説

源泉かけ流しの濁り湯・貸切露天風呂/星降る高原の温泉リゾートホテル

泉質名 **単純酸性硫黄温泉(硫化水素型)**  
(共同源泉から引湯)

低張性 酸性 高温泉

■ 源泉の利用状況				
加水なし	加温なし	消毒なし	消毒なし	入浴剤なし
○	○	○	○	○
※源泉100%かけ流し				

源泉率 100%  
湯の入替 1日1回  
源泉の湧出状況  
共同源泉1本：自噴泉  
管理組合で集中管理して各旅館に分配される源泉  
飲泉 不可  
源泉かけ流し風呂  
すべての湯舟が、加水、加温をしない、源泉100%かけ流し

◆温泉レポート (文・温泉&宿コンシェルジュ 大竹仁一)

この宿で使われている温泉は、新湯(あらゆ)温泉4軒の宿共通の湯で、近くの通称・硫黄山から引き湯された源泉。

泉質名は「単純酸性硫黄温泉(硫化水素型)」となる。  
pH2.6の酸性を示し、玉子が腐ったような匂いが特徴。  
つまりは、「単純酸性泉」と「単純硫黄泉(硫化水素型)」の2つの泉質がミックスされたもの。  
ちなみに、泉質名の頭に「単純」と付くのは、温泉1kg中に溶存物質(ガスを除く)が1000mg未満の泉質の場合。

「酸性泉」は、1kg中に水素イオンが1mg以上ある温泉。  
ここでは、温泉1kg中に溶存物質(ガスを除く)が1000mg未満なので「単純酸性泉」となる。  
刺激が強いので、肌の弱い人には適さず、「湯あたり」しやすい泉質でもある。  
気になる方は、入浴後にシャワーで温泉を洗い流した方がいいだろう。  
また、「酸性泉」は、殺菌力が強い事から「皮膚病の湯」とも呼ばれている。

「硫黄泉」は、1kg中に「総硫黄」が2mg以上ある温泉。  
同じく、温泉1kg中に溶存物質(ガスを除く)が1000mg未満なので「単純硫黄泉」となる。  
ここでいう「総硫黄」とは、①硫化水素イオン②チオ硫酸イオン③遊離硫化水素のこと。  
一般に「硫黄泉」は、「硫黄型」と「硫化水素型」に大別されるが、この温泉は「硫化水素型」。  
ちなみに、「硫黄型」は①②が主体で、「硫化水素型」は③が主体。  
専門的な事を書く、と「モル」という単位で計算して、①+②>③となったら「硫黄型」。  
①+②<③となったら「硫化水素型」となる。

「硫黄泉」は、動脈硬化症、高血圧、高血糖にいいとされる事から「生活習慣病の湯」とも呼ばれている。  
また、メラニンの分解を促す事から「シミ予防の湯」とも言われる。  
「硫化水素型の硫黄泉」に限って言えば、痰のキレをよくすることから「痰の湯」と呼ばれる事もある。  
「硫黄泉」は「酸性泉」と同じく、刺激が強い泉質なので、病弱者、高齢者、肌の弱い人には注意が必要で、「湯あたり」しやすいと言える。

いずれにしても、この宿の温泉は、「硫黄泉」と「酸性泉」の両方の温泉を享受できるのだから、非常にありがたい。

平成26年の改定では、「硫黄泉」「酸性泉」共通の浴用の泉質別適応症としては、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、表皮化膿症(硫化水素型の硫黄泉に関しては末梢循環障害を加える)。  
「硫黄泉」のみでは慢性湿疹。  
「酸性泉」のみでは耐糖能異常(糖尿病)。  
飲用の泉質別適応症を見ると、耐糖能異常(糖尿病)は、「硫黄泉」も含まれるが、この宿では残念ながら保健所の許可は取っていない。  
しかしながら、この白濁した極上の温泉を、できるだけ加水をせず、湯量で温度調節をしているのが何よりも素晴らしい。  
源泉かけ流しの温泉の醍醐味を、肌感じてほしい。

◆宿レポート (文・温泉&宿コンシェルジュ 大竹仁一)

「奥塩原高原ホテル」は、塩原温泉郷のひとつ、標高900~1000mの山あいにある「新湯温泉」にある。日光国立公園塩原温泉郷の豊かな自然の中、上質な温泉を味わうことができるのだ。

ここでは、3つの外湯の共同浴場も、温泉ファンを楽しませてくれる。  
館内には、露天風呂付きの男女別大浴場の他に、バリアフリーの貸切風呂と、3つの趣きの違う貸切露天風呂も用意されている。  
客室もリーズナブルな和室から、豪華な和洋室まで揃い、最近ではツインのローベッドが配されたモダンな客室も選べるようになってきている。  
料理も、地元の食材を使い、旬の献立を味わうことができる。  
この宿を良く知る客は、和牛ステーキをオーダーすることが多いと聞いた。  
四季折々の風景を楽しめるこの宿は、静かでゆったりとした時間を過ごせる。  
春の新緑、夏の避暑、秋の紅葉、そして冬の雪見露天など、楽しみはいっぱい。  
特に冬は、近くに関東最大級のスキー場があるので、ウィンタースポーツを目的の客も増えているという。  
リーズナブルな料金設定で、リピーター客も多いのも特徴だ。